

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	古俣 智江				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

本ゼミでは、食品と経済のかかわりに興味をもち、食品に関して消費がどのようになされていくのかをSDGs達成に関連して考察していく。食品経済に関する学外研修を多く行います。卒業研究の進捗状況報告を含めて、ゼミ生による発表も行う。本ゼミが取り上げるSDGsの目標11は2030年までに「住み続けられるまちづくりを」を目指すものであり、本ゼミでは、それら目標の達成に、焦点を当て探ることとする。

《授業の到達目標》

健康栄養学科に学ぶ学生としてふさわしい視点からSDGsを正しく理解し、問題意識をもって「行動する」ことへとつなげられる。特に、食品によって地域を活性化させるという視点に立つて、各自の考えや意見を表明できるようにする。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

授業の都度必要に応じて資料を配布する

《参考図書》

令和4年度版 「さいたま市の農業」さいたま市経済局農業政策部農業政策課2023年3月発行

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたレポートは次回までにコメントし返却する。プレゼンテーションについては、その都度授業中にコメントしフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	授業ガイダンス	前期のゼミの取り組みのガイダンスを行う 【時間外学習】シラバスの内容について確認する
2	卒業研究について	卒業研究についてのガイダンス 【時間外学習】事前に配布された資料に目を通しておく
3	食品に関する企業について	食品に関する企業の求人情報についてハローワークに訪問し検索する 【時間外学習】自分の興味のある業種を選択しておく
4	食品ロス	食品ロスについて過去の卒業研究の資料から学修する 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
5	肉代用食品	食習慣の多様性と肉代用食品について過去の卒業研究の資料から学修する 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
6	食による町おこし	食による町おこしについて過去の卒業研究の資料から学修する 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
7	SDGsと食品	食品によるSDGs達成について過去の卒業研究の資料から学修する 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
8	SDGsと農業	農業とSDGs達成との関係を過去の卒業研究の資料から学修する 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
9	さいたま市の農業	さいたま市役所を訪問し、さいたま市の農業に関し説明を受ける 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
10	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ（農業交流直売会）への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
11	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ（農業交流直売会）への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
12	さいたま市の農業のまとめ	前回の活動の反省とまとめ 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
13	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ（農業交流直売会）への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
14	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ（農業交流直売会）への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
15	活動内容のまとめ	前期のゼミでの活動の反省とまとめ 【時間外学習】前期に配布した資料を整理し、まとめておく

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	馬場 和久				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

食育ゼミ班に所属し、指導教員やゼミ生と協働しながら、学校給食に関する個人研究及びグループ研究を行う。研究結果を分析・考察し論文にまとめる。研究内容や成果については口頭またはポスターで発表を行う。卒業研究を進めるにあたっては、ゼミ内で討議したり共同作業をしたりすることを重視し、より内容が深められるように取り組む。

《授業の到達目標》

課題発見、解決、提案する力を身に付ける。研究内容の説明ができる。研究内容について討議することができる。調査等で得られた結果について討議し、論文としてまとめることができる。研究内容や成果についてスライドにやポスターにまとめ発表することができる。研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究・卒業論文の概要	食育ゼミで行う研究の内容について、卒業生の先行研究等を参考にしながら理解する。[時間外学習] 先行研究について内容の概略をまとめておく。
2	卒業研究の進め方	個人論文やグループ論文の構成及び全体テーマについて協議する。(グループワーク) [時間外学習] 協議する内容について自らの考えを準備しておく。
3	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員や共同研究者と協議し研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索(グループワーク) [時間外学習] 研究を進めておく。
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員や共同研究者と協議し研究計画を作成する。研究テーマの検討、研究方法の検討(グループワーク) [時間外学習] 研究を進めておく。
5	卒業研究の実施	グループ研究及び個人研究のテーマ、研究方法、研究計画についてゼミ担当教員や共同研究者と協議し決定する。(グループワーク) [時間外学習] 研究を進めておく。
6	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を進める。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
7	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
8	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
9	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
10	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
11	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
12	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
13	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
14	卒業研究の実施	前期卒業研究おける進捗状況の報告(中間報告) [時間外学習] 前期の研究経過や成果について報告できるようにまとめておく。
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画を見直ししながら、後期の研究計画を作成する。[時間外学習] 前期の研究成果をもとに後期の構想を立てる。

《テキスト》

必要に応じてプリント資料等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
村上健太郎・基礎から学ぶ栄養学研究・建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録種等
他にゼミ指導教員から必要に応じて指示する。

《授業時間外学習》

配布された資料や調査研究テーマについて事前に調べておく。毎回の授業について1時間の授業時間外学習(予習・復習)が必要である。正課授業時間外で実施する場合もあるため、実施日に留意すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人の研究進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者(ゼミ生)と討論する中で、研究遂行のためのフィードバックをしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 政巳				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	富重 慶子				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

栄養教育学ゼミに所属し、ゼミ担当教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

課題発見、解決、提案する力を身につける。先行研究調査、国民健康・栄養調査結果を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。研究内容を説明、討議することができる。研究内容・成果を発表することができる。研究内容・成果を論文としてまとめることができる。さらに、スライドやポスターにまとめ、発表することができる。研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の概要	卒業研究の進め方、卒業論文について卒業生の論文を参考に理解する。
2	卒業研究の概要	図書館の使用方法、論文検索の方法
3	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究おける進捗状況の報告（中間報告）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
国民健康・栄養の現状、第一出版
ほか

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、研究テーマに関する資料の検索、まとめをしてゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人またはグループでの研究進捗状況について随時指導教員に報告を行い、討議の中でその都度評価しフィードバックしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	鈴木 玉枝				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	甲山 恵美				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。研究内容を説明、討議することができる。研究内容・成果を発表することができる。研究内容・成果を論文としてまとめることができる。研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

桑田てるみ他、学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版 スキルを学ぶ21のワーク、実教出版
 日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
 村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
 国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
 ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	古俣 智江				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで話し合いながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク） 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会（口頭発表、ポスター発表）の練習（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

本ゼミでは、食品と経済のかかわりに興味をもち、食品に関して消費がどのようになされていくのかをSDGs達成に関連して考察していく。食品経済に関する学外研修を多く行います。卒業研究の進捗状況報告を含めて、ゼミ生による発表も行う。本ゼミが取り上げるSDGsの目標11は2030年までに「住み続けられるまちづくりを」を目指すものであり、本ゼミでは、それら目標の達成に、焦点を当て探ることとする。

《授業の到達目標》

健康栄養学科に学ぶ学生としてふさわしい視点からSDGsを正しく理解し、問題意識をもって「行動する」ことへとつなげられる。特に、食品によって地域を活性化させるという視点に立つて、各自の考えや意見を表明できるようにする。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	授業ガイダンス	後期のゼミの取り組みのガイダンスを行う 【時間外学習】シラバスの内容について確認する
2	卒業研究について	卒業研究についての課題と予定する内容を発表する 【時間外学習】卒業研究について課題を決定しておく
3	卒業研究について	卒業研究について計画をたてる 【時間外学習】卒業研究についての目次を考えておく
4	卒業研究について	卒業研究について資料を検索する 【時間外学習】卒業研究についての書籍を用意しておく
5	卒業研究について	卒業研究個人論文を資料をまとめながら書き始める 【時間外学習】卒業研究について資料を熟読しておく
6	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ（農業交流直売会）への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ（農業交流直売会）への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
11	卒業研究について	卒業研究個人論文を書き終え各自指導教員からの添削を受ける 【時間外学習】卒業研究について資料を熟読しておく
12	卒業研究について	卒業研究グループ論文を個人論文をまとめて作成する 【時間外学習】卒業研究についてほかのゼミ員の論文を読んでおく
13	卒業研究発表	各自の卒業研究を発表する 【時間外学習】卒業研究の発表の準備をしておく
14	卒業研究グループ論文	卒業研究グループ論文を完成させ、指導教員からの添削を受ける 【時間外学習】卒業研究についてほかのゼミ員の論文を読んでおく
15	ポスターセッション発表の準備	卒業研究グループ論文に沿ったパワーポイントの作成 【時間外学習】グループ論文に沿ったパワーポイントを各自作成しておく

《テキスト》

授業の都度必要に応じて資料を配布する

《参考図書》

令和4年度版 「さいたま市の農業」さいたま市経済局農業政策部農業政策課2023年3月発行

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたレポートは次回までにコメントし返却する。プレゼンテーションについては、その都度授業中にコメントしフィードバックする。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	馬場 和久				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

食育ゼミ班に所属し、指導教員やゼミ生と協働しながら学校給食に関する個人研究及びグループ研究を行う。研究結果を分析・考察し論文にまとめる。研究内容や成果については口頭またはポスターで発表を行う。卒業研究を進めるにあたっては、ゼミ内で討議したり共同作業をしたりすることを重視し、より内容が深められるように取り組む。

《授業の到達目標》

課題発見、解決、提案する力を身に付ける。研究内容の説明ができる。研究内容について討議することができる。調査等で得られた結果について討議し、論文としてまとめることができる。研究内容や成果についてスライドにやポスターにまとめ発表することができる。研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
2	卒業研究の実施	研究計画に沿って、ゼミ担当教員のもとで卒業研究を施す。文献や先行研究調査、アンケート調査等を行い、随時その結果を記録しまとめる。(グループワーク)
3	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員や共同研究者と協議し研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索(グループワーク)[時間外学習]研究の推進。
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員や共同研究者と協議し研究計画を作成する。研究テーマの検討、研究方法の検討(グループワーク)[時間外学習]研究の推進。
5	卒業研究の実施	グループ研究及び個人研究のテーマ、研究方法、研究計画についてゼミ担当教員や共同研究者と協議し決定する。(グループワーク)[時間外学習]研究の推進。
6	卒業研究の実施	研究論文の作成(個人・グループ)[時間外学習]個人・グループ研究を進めておく。
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の発表の準備(グループワーク)[時間外学習]展示物の作成等、発表の準備を進めておく。
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の発表の準備(グループワーク)[時間外学習]展示物の作成等、発表の準備を進めておく。
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の発表(グループワーク)[時間外学習]展示物の作成等、発表の準備を進めておく。
10	卒業研究の実施 学外調査	研究論文の作成(個人・グループ) 学外での調査・研究等を行う。[時間外学習]学外調査の準備をし、結果をまとめておく。
11	卒業研究の実施	研究論文の作成(個人・グループ)[時間外学習]個人・グループ研究を進めておく。
12	卒業研究の実施	研究論文・抄録の作成(グループ)[時間外学習]個人・グループ研究を進め、抄録内容を考えておく。
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター)の作成(グループワーク)[時間外学習]研究発表資料の作成を進めておく。
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター、発表用原稿)の作成(グループワーク)[時間外学習]研究発表資料の作成を進めておく。
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会の準備(グループワーク)[時間外学習]研究発表資料の作成を進めておく。

《テキスト》

必要に応じてプリント資料等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
村上健太郎・基礎から学ぶ栄養学研究・建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録種等
他にゼミ指導教員から必要に応じて指示する。

《授業時間外学習》

配布された資料や調査研究テーマについて事前に調べておく。毎回の授業について1時間の授業時間外学習(予習・復習)が必要である。正課授業時間外で実施する場合もあるため、実施日に留意すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人の研究進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者(ゼミ生)と討論する中で、研究遂行のためのフィードバックをしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 政巳				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで話し合いながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
 実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
 研究内容を説明、討議することができる。
 研究内容・成果を発表することができる。
 研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
 研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
 日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
 村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
 国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
 ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク） 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会（口頭発表、ポスター発表）の練習（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	富重 慶子				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

栄養教育学ゼミに所属し、ゼミ担当教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

課題発見、解決、提案する力を身につける。先行研究調査、国民健康・栄養調査結果を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。研究内容を説明、討議することができる。研究内容・成果を発表することができる。研究内容・成果を論文としてまとめることができる。さらに、スライドやポスターにまとめ、発表することができる。研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。文献や先行研究調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
2	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献や先行研究調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク) 研究論文の作成(個人)
3	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献や先行研究調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク) 研究論文の作成(個人)
4	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献や先行研究調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。五峯祭発表準備、ポスター作成(グループワーク)
5	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献や先行研究調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。五峯祭発表準備、ポスター作成(グループワーク)
6	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献や先行研究調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。五峯祭発表準備、ポスター作成(グループワーク)
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動
10	卒業研究の実施	研究論文の作成(個人、グループワーク)
11	卒業研究の実施	研究論文の作成(個人、グループワーク)
12	卒業研究の実施	研究論文の作成(個人、グループワーク)
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター)の作成(グループワーク)
14	卒業研究の実施	卒業研究発表資料(スライド、ポスター、発表用原稿)の作成(グループワーク)
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会(口頭発表、またはポスター発表)の練習(グループワーク)

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
国民健康・栄養の現状、第一出版
ほか

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、研究テーマに関する資料の検索、まとめをしてゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人またはグループでの研究進捗状況について随時指導教員に報告を行い、討議の中でその都度評価しフィードバックしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	鈴木 玉枝				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで議論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク） 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会（口頭発表、ポスター発表）の練習（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	甲山 恵美				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。
研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。
卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

桑田てるみ他、学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版 スキルを学ぶ21のワーク、実教出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版 村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。
授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。
研究は授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者(ゼミ生)と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会（口頭発表、ポスター発表）の練習